

## 正しく使いましょう。

- 容器は平らな場所で、コンクリートなどの敷き台に置くなど、絶対に倒れないようにしてご使用ください。また、直射日光を避けてご使用ください。
- ガス機器のそばには、燃えやすいものを置かないでください。
- 着火は目で確認してください。
- 着火を行うときは、必ず目で確かめながら器具栓を回してください。
- ガスの炎は、青い炎でご使用ください。



不完全燃焼  
(酸素不足)



完全燃焼

- 赤っぽい炎は不完全燃焼をしているので危険です。
- マッチ等にて点火する場合には、マッチ等を先に点火してから器具栓を開いてください。
- 使用中はその場を離れないでください。
- 風や蒸こぼれなどで火が消えることがあります。
- 使用中は決してその場を離れず、火が消えないよう十分に注意してください。
- 消火は確実に行ってください。
- 消火を行うときは、必ず目で確かめながら器具栓を回し、再火を確認してください。
- ご使用後は器具栓、容器バルブを完全に閉めてください。(ガス栓が付いている場合は、ガス栓も閉める。)



## 正しく使って いつも安心

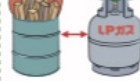
### ● 容器の保管について 次の点にご注意ください。



- 風通しの良い、日陰などの屋外に保管する。



- 容器が倒れないように平らな場所に立てて保管する。



- 付近の火気から、2m離れた場所に保管する。



- 使用後は容器バルブが完全に閉まっていることを確認する。

### ● 容器の運搬(移動)について

容器を運搬(移動)するときは、次の点にご注意ください。



- 原則まっすぐ立てる。



- 転倒転落しないよう、荷台の前方には、ロープなどで固定する。



- 容器や容器バルブに衝撃を与えたり、粗悪な取扱いはしない。



- 車の振動により容器バルブが緩むことがあるので、ときどき点検して緩みがあるときは強く閉める。

※ 容器の内容積が25リットル(10kg)以下で、合計が50リットルを超えて(例えば10kg容器2本と2kg容器1本)LPガスを車両に積載して移動する場合は、警戒標の表示や消火設備や応急措置に必要な工具、移動中の災害防止のために必要な注意事項を記載した書面(イコーカード)等の携行が必要です。



### ● 万一、運搬(移動)中にガスもれがあった場合の措置について

- ① 容器バルブが緩んでいないかを確認してください。  
※ 容器から大量にもれた液体に触れると、凍傷になる恐れがあります。容器バルブを閉める際はご注意ください。
- ② 風通しを良くし、絶対に火気を使用しないでください。
- ③ 車両のエンジンを直ちに止めてください。
- ④ ガスもれている容器と他の容器は離してください。
- ⑤ 付近にいる人を風上へ避難させてください。
- ⑥ LPガス販売店、保安機関(緊急時の連絡先)または消防署などに連絡し、その指示に従ってください。  
(連絡先は表紙に記載)

## 災害時の対策は… 自分の身を守りましょう



### 火災のときは

容器バルブを閉め、消防署員又は消火にあたる人に通報して指示を受けてください。



### 地震のときは

LPガスの使用を中止してください。器具栓や容器バルブも閉め、容器が倒れないように注意してください。



### 台風・洪水の恐れがあるときは

容器バルブを閉め、容器を安全な場所に移動するなど、容器が倒れたり流出しないように注意してください。

**災害後** 災害後、再びLPガスを使用するときは、容器、容器バルブに損傷がないか点検をしてください。また、ガス機器の点検もしてください。異常があったときはLPガス販売店または保安機関(緊急時の連絡先)に連絡してください。(連絡先は表紙に記載)

## 質量販売用周知文書

# LPガス

知って安心!!

クリーンエネルギー



LPガスをキャンプ・お祭りなどの  
催事用・屋台などで  
お使いになるお客様へ

LPガス 人と自然にやさしく  
18年10月LPガスの日

使用状況により安全基準が異なりますのでご契約時のLPガス販売店との取り決め以外の用途で使用しないでください。  
このパンフレットは液化石油ガス法にもとづき、お届けするものです。

- 店名
- 住所
- 電話
- 緊急時の連絡先

一般社団法人 全国LPガス協会・都道府県LPガス協会

本周知文書の一部及び全部を複製・転載・引用等を禁じます。



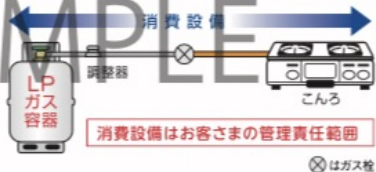
# LPガスを 安心・快適にお使い いただくために。

LPガスを安心してご使用いただくためには、LPガスおよびガス機器などについて正しいご理解をいただくことが大切です。このパンフレットは、質量販売(キャンプ・お祭りなど)によるLPガスをご使用になるお客さまに、LPガスの正しい使用法を分かりやすくまとめたものです。LPガスをご使用前に必ずご一読ください。なお、ガス機器の使用法など、詳しくはガス機器の取扱説明書や警告表示などをご確認ください。

## LPガス設備の管理について

LPガスの消費設備(容器からガス機器まですべて)は、お客さまご自身の責任で管理し、安全にご使用ください。

※工業用や船舶内用にご購入されたLPガスを一般消費用に使用することはできません。(法律による使用制限)



## 必ず確認してください。

### ゴム管について

- ガス栓に適合するLPガス用ゴム管または専用ホースを使用してください。
- ガスもれ防止のため、湯沸器や風呂がまなどの固定式の燃焼機器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。
- ゴム管は、過度に長いものを使用しないでください。
- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
- ゴム管は、物かけを通したり、折り曲げたりしないでください。
- 三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。
- ゴム管はときどき点検し、ひび割れや焼け焦げなどの発生しているゴム管は使用しないでください。ゴム管からのガス漏れの点検は、石けん水を塗り泡が出るかで見分けます。(泡が出た場合は、すぐに新しいゴム管に取替えてください。)点検後はきれいに拭き取ってください。



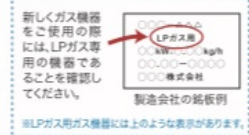
### ガス機器について

- LPガスには、必ずLPガス用ガス機器をご使用ください。  
都市ガス用ガス機器は使用できません。
- ガス機器は、取扱説明書をよく読んでから、正しくご使用ください。



### ガス機器のお手入れ

ガスこんろなどの目づまりは、不完全燃焼の原因となります。ときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。ガス機器(こんろなど)のお手入れなどで、ネジなどを取り外す必要がある場合は、ご自分でお手入れせず、必ずLPガス販売店へご連絡ください。



## もしもガスがもれたら!!

ご使用中はガスもれ(LPガスのニオイ、ガスもれのような音)に注意してください。ガスもれに気づいたときは、あわてず適切に対処するよう心掛け、以下の要領で行動してください。



LPガス販売店、保安機関(緊急時の連絡先)または消防署などに連絡し、その指示に従ってください。(連絡先は表紙に記載)

## 不要になった容器の処分と容器検査について

- 不要になった容器の処分について  
不要になった容器は、購入されたLPガス販売店へ処分依頼してください。
- 容器検査について  
LPガスの容器は法律により、定期的に都道府県の検査を受けた容器検査場で検査を受ける必要があります。



※上記の他に、カップリング付容器を使用した25リットル(10kg)以下までの容器。

必ず 調査を受けてください。  
法律で4年に1回以上の消費設備調査が義務付けられています。

⚠️ LPガス容器をゴミと一緒に捨てないでください。  
LPガスが残っている容器をゴミとして捨てると、収集車や処理場でガス爆発などの災害を招き、とても危険です。また、捨てた場合は法律により罰せられます。

## LPガスの性質

### 1 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重いので、もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

### 2 ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるようにガス特有の臭い(異臭)をつけてあります。

### 3 燃焼には空気が必要

LPガスが燃焼するためには空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こしCO(一酸化炭素)が発生しますので十分注意してください。

## ⚠️ LPガスを屋内で使用する場合のご注意

使用する容器は20リットル(8kg)以下のものをご使用ください。(法律による使用制限)  
カップリング付容器以外の容器で8リットル(2kg)を超えて(5kg、8kg等)使用する場合は、LPガス販売店に接続を依頼してください。

- ※LPガスを屋内で使用する場合は、必ず「家庭用周知文書」をお読みください。
- ※カップリング付容器を使用した場合は、25リットル(10kg)以下まで使用することができます。
- ※ガスが燃えるためには、新鮮かつ、たくさんのお空気を必要とします。換気が十分に行われないと、酸素不足や室内に換気が不足して不完全燃焼を起こし、有害なCO(一酸化炭素)が発生する恐れがあるため、たいへん危険です。ので、十分な換気をしてください。

## 堅牢・軽量LPガス用FRP(Fiber Reinforced Plastics)容器について

- 1 容器重量は鋼製容器の約60%と軽く、持ち運びが楽です。
- 2 カラフルで美観に優れ、7.5kg容器は室内においても違和感なく使用できます。
- 3 ガス残容量が一目で確認でき、ガス切れ防止に役立ちます。
- 4 オールプラスチック製なのでサビの発生が無く、船山や沿岸地域でも安心して使用できます。



## LPガス消費設備の使用上(作業時)の注意

- 使用開始時、操業中、終了時をはじめ1日3回以上、消費設備からのガスもれおよび調整器・配管・ゴム管のキズ、ひび割れ、腐食などの点検を行い、異常がある場合には速やかに修理または交換をしてください。
- 調整器・ゴム管類は定期的に交換してください。
- 使用後の容器のバルブには、損傷を防ぐためキャップをしてください。
- ペーパーライザーを使用している場合の維持管理は、取扱説明書により実施してください。
- 消費設備を使用する場合については、次のことにご注意ください。

1日3回以上



1. 貯蔵設備等の周囲5メートル以内では、火気(当該設備内のものを除く)の使用を禁止し、引火性、発火性のあるものを置かないでください。
2. 燃焼器を屋内に設置する場合は、適切な給排気設備を設置し、一酸化炭素中毒・酸欠事故を未然に防止してください。
3. ガスもれした場合の滞留防止措置(例えば、通気口を設けるなど)を講じてください。

※定期検査などを実施する時は、LPガス販売業者にご連絡ください。

## 高圧ガスを積載して公道を移動するときの注意

- 高圧ガスの警戒標が必要です。
- 酸素・可燃性ガスは消火器/防火資機材/イェローカードも必要です。

(遵守しないと高圧ガス保安法により、罰せられます)

※容器の内容量が25リットル(10kg)以下で、合計が50リットル以下を積載する場合は、上記は不要です。



## 災害時の処理はあわてず迅速に!

**⚠️ ガスもれを感知したとき。  
LPガス用ガス警報器が鳴ったとき。**

- 1 直ちにLPガスの供給を遮断し、すべての火気の使用を中止し、ガス栓、器具栓および容器バルブを閉めてください。
- 2 扉や窓を十分に開け、風通しを良くしてください。
- 3 LPガス販売業者に連絡してください。

### LPガス用ガス警報器と消火器について

LPガス用ガス警報器と消火器は、適正な位置に適正な性能を有するものを設置することが、高圧ガス保安法により義務づけられています。詳しくは、LPガス販売業者にご相談ください。

**⚠️ 火災発生するとき。**

LPガスの供給を遮断し、初期消火に努めるとともに消防署などに急報してください。万一のときのために、緊急時の連絡先(LPガス販売業者の電話番号など)を見やすい箇所へ明示しておいてください。

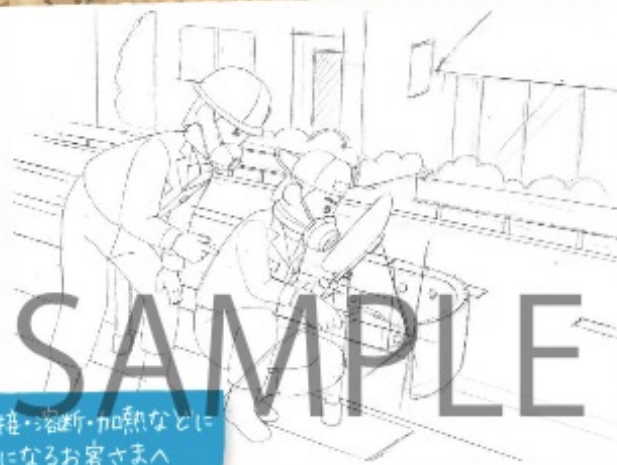
LPガス販売業者にすぐ連絡!



知って安心!!

# LPガス

クリーンエネルギー



LPガスを溶接・溶断・加熱などにお使いになるお客さまへ  
(一般家庭用としては、お使いいただけません。)

LPガス  
人と地球にスマイルを  
10月10日はLPガスの日

このパンフレットは高圧ガス保安法にもとづき、お届けするものです。

- 店名
- 住所
- 電話
- 緊急時の連絡先

一般社団法人 全国LPガス協会・都道府県LPガス協会



## LPガス[液化石油ガス]を使用する施設の 管理責任者へのお願い。

- 従業員の皆さまに高圧ガス保安法を遵守するよう指導するとともに、このリーフレットに記載された周知事項を徹底し、安全にLPガスをご使用ください。
- いつでも、保安についてLPガス販売業者と連絡を取れるように窓口となる担当者を選任してください。
- 消費設備の新設または変更の工事を行う場合は、事前に必ずLPガス販売業者に連絡してください。
- LPガスおよび消費設備、器具の取扱いについては、取扱説明書や警告表示などを十分にご確認の上、正しくご使用ください。

### LPガスの性質

#### ① 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重いので、もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

#### ② ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるようにガス特有の臭い(異臭)をつけてあります。

#### ③ 燃焼には新鮮かつ、たくさんの空気が必要

LPガスが燃焼するためには新鮮かつ、たくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こしCO(一酸化炭素)が発生しますので十分注意してください。

#### ④ 液化した状態で容器(ボンベ)に入っている

LPガスは圧力をかけて液化した状態でLPガス容器(ボンベ)に入っています。

#### ⑤ クリーンなエネルギー

LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、クリーンなエネルギーであると位置づけられています。また、LPガスには人体に有害なCO(一酸化炭素)は入っていません。

### LPガス容器などによる貯蔵の注意

- LPガスの貯蔵については、次の事項にご注意ください。

1. 容器などは直射日光を避け、容器の温度が40℃を超えないよう対策を講じてください。
2. 容器などは転倒・転落を防止する措置を講じ、風通しの良い場所に置いてください。
3. 容器などは湿気・水滴などによる腐食を防止する措置を講じてください。
4. 容器置場から2m以内では、火気の使用を禁じ、かつ引火性もしくは発火性の物を置かないでください。
5. 容器の取扱いおよび運搬は、慎重に行ってください。
6. 容器などは所定の場所に保管し、車両の荷台などでの保管はしないでください。
7. 貯蔵量300kg以上の場合、所轄の消防署などに届け出る必要がありますのでLPガス販売業者に相談してください。
8. 貯蔵能力3t以上の場合、所轄の都道府県に届け出る必要がありますのでLPガス販売業者に相談してください。

- バルク容器を設置してガスを使用する場合は、「LPガスバルク供給基準」によるか、または、LPガス販売業者とご相談の上、管理してください。  
LPガスが残っている容器を廃棄すると、高圧ガス保安法により罰せられます。使用済みの容器は速やかにLPガス販売業者に返却してください。
- LPガス販売業者の連絡先が不明のときは、都道府県高圧ガス担当課または都道府県LPガス協会へお問い合わせください。

## 溶接・溶断または加熱用燃料として LPガスをご使用の皆さまへ



### 着火・消火は必ず目で確認を!

- 容器等のバルブは静かに閉閉してください。
- 自動着火装置のある自動切断器などについては、その取扱説明書に従って操作してください。
- 作業にあたっては、保護手袋、遮光眼鏡など保護具を着用してください。
- トーチ、バーナーおよび口火は、LPガスに適合しているものを使用してください。
- トーチなどに点火するときは、最初は酸素を出さず、ガスを先に出し点火器で着火後、酸素を徐々に出して火炎を調節してください。消火するときは酸素を先に閉めたあと、ガスを閉止してください。
- 着火後はバーナーの火炎が安定したことを目視で確認してください。  
また使用中は火炎が適切に保たれているよう注意してください。
- 作業を行う周辺は整理整頓し、換気にも十分注意してください。
- 屋外で作業をする場合は、強風による立ち消えのないような措置を講じてください。
- フレイムロッド、圧力センサー、遮断弁などの燃焼安全装置は正常に作動することを確認してください。
- バイパス弁を開けたままの燃焼などは行わないでください。
- バーナーの使用を終了したら、ガス栓、器具栓、容器バルブを必ず閉めてください。
- 器具などの清掃は、専用器具を用いて行ってください。
- 酸素を併用する場合は、一級高圧ガス関係の周知事項を確認してください。
- ホースと減圧設備等を接続するときは、ホースバンドで締め付けること等により、ガスもれがないことを確認してください。
- 火花の飛来するおそれがある場所に充てん容器などを置かないでください。



### 着火の前にプレパージを行うこと!

(事前の残ガス排除)

- 燃焼器は、LPガスに適合しているものを使用してください。
- 燃焼器に着火するときは、その取扱説明書の着火手順に従って操作してください。特に密閉型強制燃焼方式では、所定の空気量でプレパージを行ってから点火してください。再点火の場合も同様の手順により行ってください。
- 着火後は、バーナーの火炎が安定したことを目視で確認してください。
- 燃焼中の圧力センサー、遮断弁などの燃焼安全装置は、正しく使用してください。また、バイパス弁を開けたままの燃焼などは行わないでください。
- 燃焼器の使用を終了したら、ガス栓、器具栓は完全に閉めてください。
- 燃焼器を清掃する場合は、取扱説明書に従って行ってください。また、バーナー等の清掃は専用器具を用いて行ってください。



## 目頃からの心がけを大切に！

緊急時対応が速やかにできるよう、コンロなどのガス機器の周りを常にきれいにしておきましょう。

LPガス容器バルブやマイコンメータの元栓の閉め方を覚えておきましょう。自宅を離れて避難するときやガス漏れの恐れがあるときに有効です。

台風・洪水に備えて  
ご家庭の容器にぐらつき等の不安がある場合は販売業者に連絡ください。容器やLPガス設備が浸水した場合や容器が転倒した場合はLPガス販売店または保安機関にお知らせください。

LPガス容器がチェーンなどでしっかり固定されていない場合は、LPガス販売店または保安機関にご連絡ください。  
(連絡先は表紙に記載)

LPガス容器の周りに燃えやすいもの、落下しやすい物を置かないようにしてください。



特に雪の多い地方の方々へ

### 雪囲いや容器収納庫の設置

雪により容器が埋まったり、屋根からの落雪や雪おろし等で調整器や配管、メータなどがこわれるおそれがあるため、雪囲いや容器収納庫を設置してください。また、雪囲いや容器収納庫の高さは除雪してください。

### 排気筒(煙突)の補強

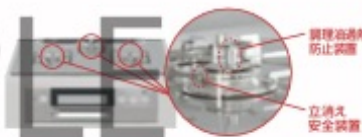
排気筒(煙突)は丈夫な支柱で補強してください。

## 安全機器でなお安心 いつも安心の安全機器や安全装置付きガス機器をおすすめします。

### Siセンサーコンロ

安全センサー(立消え安全装置・調理油過熱防止装置・消し忘れ消火機能)を搭載しているので二次災害の防止に役立ちます。

- ◆立消え安全装置は、火こぼれや吹きこぼれ、強風などで火が消えた時、自動的にガスを止めます。
- ◆調理油過熱防止装置は、センサーが鍋底の温度を感知し、約250℃になると自動的に消火して油の発火を防ぎます。
- ◆消し忘れ消火機能は、消し忘れでも、点火後一定時間が経過した時点で自動消火します。



### 集中監視システム

お客さまのLPガスの利用状況を24時間365日休みなく見守り、異常を感知したら適切な措置(販売店等から連絡が入るなど)を行うシステムです。

### ガス警報器

ガスもれをすばやく感知し、ブザーや音声で知らせます。



## CO(一酸化炭素)中毒事故防止に有効です。

### CO(一酸化炭素)警報器

不完全燃焼で発生したCO(一酸化炭素)を感知し、ブザーや音声で知らせます。



### 不完全燃焼防止装置付き小型湯沸器

不完全燃焼が発生した場合、ガスを自動的に止めます。

※不完全燃焼防止装置の付いていない小型湯沸器は、不完全燃焼によるCO(一酸化炭素)中毒事故が発生する可能性がありますので早めに交換してください。



### 屋外設置式の給湯器

屋外の空気を使って燃焼し、排ガスも屋外に排出するため、不完全燃焼対策に有効です。また、省エネ性能にも優れています。



住宅用火災警報器とCO(一酸化炭素)警報器にガス警報器を加えたものはより安全です。

### 住宅用火災・CO・ガス警報器

火災・CO(一酸化炭素)・ガスもれを感知し、ブザーや音声で知らせます。



本パンフレットの一部及び全部を複写・転載・引用等を禁じます。

## 災害対策パンフレット

災害に強い、クリーンエネルギー

# LPガス



LPガス  
人と地球にスマイルを  
10月10日LPガスの日

## 災害にも強いLPガス

これまで地震などの大規模な災害時において、どの被災地でもライフラインの早期復旧が課題となりました。その中でLPガスは復旧の早さや避難所などへの対応が迅速であったことなどから、多くの人の暮らしに安心をもたらしました。このように、LPガスは「災害にも強い」ことを実証されています。

### 分散型エネルギー

電力や都市ガスのようなネットワーク型エネルギーと異なり、LPガスは分散型エネルギーなので早期復旧が容易です。

### 軒下在庫

LPガスには軒下在庫があるので、LPガス容器2本立ての場合、普段通りの使用ならば、1ヶ月以上使用可能です。

### マイコンメータ

すべてのお宅にはマイコンメータが設置されているので、大きな揺れ等を感知するとLPガスを自動的に遮断します。

●店名

●住所

●電話

●緊急時の連絡先

一般社団法人 全国LPガス協会・都道府県LPガス協会

# 災害時の対策は…

## まずは、ご自身の身を守りましょう

### 地震

のときは落ちついて行動を!!



揺れがおさまったら、室内の火を、素早くすべて消してください。

地震が起きてもマイコンメータの感震機能でLPガスは自動遮断します。  
揺れがおさまってからガス栓・器具栓を閉め(火をすべて消し)、揺れが大きかった時は、屋外の容器バルブも閉めてください。



ガス栓・器具栓をすべて閉めてください。

### 火災

のときは  
容器バルブを閉め、消防署員又は消火にあたる人にLPガス容器の位置を知らせ、後の処置を頼んでください。



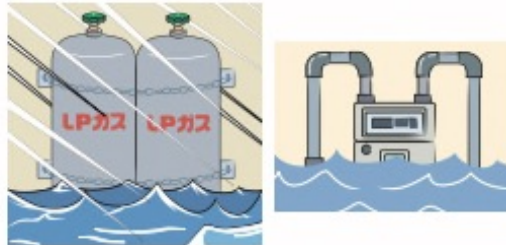
### 大雪

のときは  
○雪おろしの注意  
積雪がLPガス容器やマイコンメータや配管に損傷を与えないよう注意してください。  
○給排気に注意  
CO(一酸化炭素)中毒にならないように、給排気口が雪でふさがらないか確認してください。

### 台風・洪水

に備えて

ご家庭の容器にぐらつき等の不安がある場合は販売業者に連絡をください。容器やLPガス設備が浸水した場合や容器が転倒などした場合はLPガス販売店または保安機関にお知らせください。



※異常があった場合は至急、LPガス販売店または保安機関(緊急時の連絡先)へ氏名・住所・状況などをお知らせください。この場合、LPガス販売店または保安機関の点検を受けてからガスの使用を再開してください。(連絡先は表紙に記載)  
※(停電中の換気に注意)停電中はファンが動かないので、窓を開けてガス機器を使用してください。

二次災害防止のため、揺れが大きいときは、おさまった後で屋外の容器バルブを閉めてください。

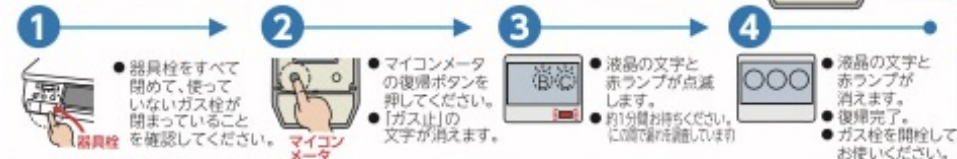
## 地震後のマイコンメータの復帰方法(ガスが使用できない場合)

マイコンメータは、感震機能が働いたり、流量や圧力の異常を検知すると、LPガスを自動的に遮断します。  
※マイコンメータには、ガスを使用中に大きな地震(震度5相当以上)があった場合には、ガスを止めるなどの保安機能が搭載されています。製造メーカーにより表示部分は若干異なりますが、基本機能・性能は同様です。是非、一度確認してください。

地震が発生した時の表示部の状態



地震後、ガス漏れがないことを確認の上、次の手順で復帰させてください。



上記の手順を行っても、LPガスを使用できなかったり、マイコンメータが再度遮断した場合は、ガス漏れの恐れがあるので復帰操作を繰り返さず、LPガス販売店または保安機関の緊急連絡先に連絡し、点検を受けてください。(連絡先は表紙に記載)

## 軒下在庫

LPガスは軒下在庫があるので安心して普段通り使用できます。



## 自宅を離れて避難する際には…

可能な限りLPガス容器バルブを閉めてください。

LPガス容器バルブを閉めることは、留守中の二次災害の防止にも役立ちます。

マンションやアパートなどの集合住宅のお宅は、マイコンメータの元栓を閉めてください。

### LPガス容器バルブの閉め方



### マイコンメータの元栓の閉め方



お隣さんにも、お向かいさんにも声をかけてみんなで開めよう  
LPガス容器バルブとマイコンメータの元栓  
これでガスもれの原因はありません。

## LPガスの性質

- 1 空気よりも重い LPガスは空気よりも重いので、もしガスがもれたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。
- 2 ニオイをつけてある LPガスそのものは無臭無味ですが、もれたときに分かるようにガス特有の臭い(臭気)をつけてあります。
- 3 燃焼には新鮮かつ、たくさんの空気が必要 LPガスが燃焼するためには新鮮かつ、たくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。換気が不十分な場合は、不完全燃焼を起こしCO(一酸化炭素)が発生しますので十分注意してください。
- 4 液化した状態で容器ボンベに入っている LPガスは圧力をかけて液化した状態でLPガス容器(ボンベ)に入っています。
- 5 クリーンなエネルギー LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、クリーンなエネルギーであると位置づけられています。また、LPガスには人体に有害なCO(一酸化炭素)は入っていません。